



『教会はキリストの体、一人一人はその部分』
コリントの信徒への第一の手紙 12 章 27 節

日米合同教会は、特にニューヨーク市近郊に住む日本人並びに日本に関心を寄せる人々に、礼拝、交わり、学び、伝道・宣教の業を通してキリストの福音をのべ伝え、キリスト者として共に信仰を深めていくことを目的とする信仰共同体です。

◇ 牧師からのメッセージ ◇

「**教会のリーダーが果たすべき役割**」2009 年と 2010 年の理事会と役員会は、新しい教会年度が始まってから数週間後に共同のリーダーシップ・ミーティングを持つことを決議しました。私は、この決定は日米合同教会(JAUC)にとって特に重要だと考え、教会員すべての方に關心を持って頂きたいと願う者です。◆教会のミッションは、イエスに従う人を育成することにあります。日米合同教会の地域教会こそ、その目的を果たす上で最も重要な役割を担っているのです。教会のリーダーの重要性が強調される所以がここにあります。◆以上のことを念頭に置いて、教会のリーダーが果たすべき役割を 5 つばかり挙げてみます。

1. 信仰の深化: リーダーは自分自身の信仰の深化に率先してあたかなければなりません。祈り、聖書を学び、愛を行動で示す努力は不可欠です。ジョン・ウェスレーの残した、「リーダーはイエス・キリストの救いの恵みの証し人である」という言葉は、そのことを意味しています。

2. 現在の状況の把握: リーダーは教会の状況がどのようなものであるかを的確に把握する必要があります。教会の組織はどのようなになっているか、誰が何をしているのか、教会の経済はどうか、新しい計画は実行に移されているか、等を理解して臨まなければなりません。

3. ビジョンの共有: 昨年度、JAUC の理事会は 5 年間のビジョンを打ち立て、会員に報告しました。リーダーはこのビジョンをあらためて読み直すことが望まれます。何故なら、それは教会がこれからどのような方向に向かって、何をどう実行していくかを考える指針となるからです。

4. 具体的な実行計画: 現状を踏まえながら、より良い方向に教会を動かしていくためには、具体的な実行計画がなければなりません。リーダーの最も重要な課題は、今の状態から望んでいる状態の間に橋をかけることだと言って過言ではないでしょう。具体的な計画は正にこの架橋に当たるものです。

5. 計画が望んだ通りに行われているかどうかのチェック: 計画が難題にぶつかることはよくあることです。問題は何か、どうしたら解決できるかを、教会の目的を絶えず意識しながら考えることはリーダーの大切な任務です。このようなリーダーシップのないところでは、良かれと思ってなされた計画がいつの間にか消え去ってしまい、無力感だけが残るといった不幸な結果を招くこととなります。◆考えてみると、これらの役割はリーダーに限ったことではなく、信仰共同体に身を置くメンバー一人一人に当てはまるものだという事に気づきます。新しい教会年度に入った日米合同教会です。



是非会員全体が力を合わせてイエスの福音の上に建てられた JAUC を盛り立てていこうではありませんか。

◇ 日曜礼拝説教の要約 ◇

■1 月 3 日「**世界に与えられた福音**」ローマ 8:35-39 今日のエピファニーの日曜日です。エピファニーとは、キリストの福音はユダヤ人だけでなく、異邦人にも、つまり、この世の全ての人々に向けられているということを強調するために、教会暦(1 月 6 日)に制定されているのです。この福音を考える為に、もし信仰をもっていなかったらと想像してみましょう。◆神なしで生きていたら、私たちは他人の評価を絶対的基準に自分を測らざるを得なくなり、生きる勇気を喪失し、人生の方向性を見失い、極端な場合は自殺に追い込まれてしまいます。たしかにこの世を生きていく限り他人の評価を受けるのは避けられません。良い評価を受けるように一生懸命努力することは、決して悪い事では在りません。それは立派なことです。しかし気をつけなければいけないのは、私たちは他人の評価に右往左往し、他者が下す評価が最終的なものであるかのように勘違いしてしまいがちです。◆キリストの福音を異邦人の間に広めたパウロは次のような言葉をローマの信徒に書き送っています。「だれがキリストの愛から私達を引き離す事が出来ましょう。艱難か、苦しみか、迫害か、飢えか、裸か、危険か、剣か。私は確信しています。死も、命も、天使も、支配する者も、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、私達の主キリスト・イエスによって示された神の愛から、私達を引き離すことはできないのです。」この世で良い評価を得ずとも、生きる価値が与えられている。これこそが、私達の信仰の中核です。世界中の民に与えられた福音の中身です。◆私の母は 80 才の半ばを境に心身共に衰えが目立つようになり、晩年は私たち家族の顔も分からなくなりました。この世的な見方からすれば、母の存在価値はゼロに近いものとなりました。私を心底から勇気づけ、母と毎日人間として向きあうことを得させてくれたもの、それは、イエスこそ徹底的に無力と化した人間を支えて離さない永遠なる同伴者だという信仰でした。◆私たちの人間としての価値は、この世の評価ではなく、主イエスの愛と慈しみの眼差しの中に置かれているというその一事にあるのです。これこそが、世界のすべての民に向かってほとばしり出るエピファニー、イエス・キリストの福音であります。



■1 月 17 日「**イエスの愛は無条件**」ヨハネ 15: 12-13 主イエスは「御心の天になるごとく、地にもなさせ給え」と祈るように教えられました。神の私達への思いが、この地上に私達を通して具体的な形で現れますように、と祈りなさいと教えられたのです。「私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」何事をなすにも愛がその動機であるような人生を歩みなさい、ということです。それが神の御心だということです。◆ここで言われる愛は、私たちが普通考える愛とは根本的に異なるという事実です。愛というと、私たちは友情、親子の愛、家族愛、夫婦愛、恋愛等を思い浮かべます。人間の愛はすべて条件付きの愛だということが分かります。そして不幸なことに、人間の愛はその条件が取り払われる時崩壊します。主イエスの愛は私達が考える条

教会ミニストリー報告

件付きの愛とは違います。◆イエスの言葉、「友のために自分の命を捨てること、これより大いなる愛はない。」は、その点を簡潔で忘れがたい言葉で表現したものです。主イエスは、あなたを愛する人を愛しなさいというのではないのです。そうではなく、あなたの行動が常に無条件で自己犠牲的な愛を動機とするものであるように努めなさいというのです。◆しかし、私たちは敵を愛することができません。自分を迫害する人のために祈ることができません。自分に正直であればある程、神の思いは私たちにとって不可能以外の何ものでもないことが明らかになってきます。それでは、私たちは意気消沈したまま生きるより道はないのでしょうか。決してそうではありません。◆主イエスは自分を捨てて逃げ去った弟子達を、そして十字架の前夜 3 回も彼を裏切ったペテロを赦されたのです。「あなたが愛の戒めを完全に果たせないことは私が良く知っている。しかしそのことは、いかなる意味でも私とあなたの中に壁とはならない。最善を尽くしなさい。後は私が引き受けた。」これこそが福音であります。グッドニュースです。私たちの人間性を支える岩です。岩です。希望です。

◇ 洗礼式と転入会 ◇

2010 年 1 月、日米合同教会 (JAUC) は 2 つのうれしいニュースをもって新年を迎えました。1 月 3 日の今年最初の日曜礼拝式には **山本味春(みはる)姉** が洗礼を受け、会員になられました。現在ニューヨークで建築士として働かれています。山本姉は、1 年以上前から JAUC 礼拝式に集まれるようになり、他の教会プログラムにも積極的に参加され、惜しみなく奉仕されています。◆そして 1 月 17 日の第 3 日曜礼拝式には、JAUC 聖歌隊で賛美を捧げている **渡辺つぎえ姉** はセントルイス第一長老教会(ミズリー州)から JAUC に転会されました。渡辺姉はセントルイスの病院で麻酔専門の看護師として 30 年近く勤務され、引退後ニューヨーク市に移住されました。私たちの主にあるコミュニティにお二人を心から歓迎いたします。



■**山本味春姉記** 私は 2010 年最初の礼拝式で洗礼を受けました。2009 年 2 月中旬から JAUC に通うようになったので、約 1 年目での受洗となります。◆私は愛媛の田舎で生まれ育ちました。日本の地域社会の中で、私は幼い時からその和の中に入れてもらえず、町ぐるみの苛めに遭い登校拒否になったり、とかく浮いた存在で有り続けました。それは、大阪や東京という大都会に於いても同じでした。当時より建築関係の仕事をしていたのですが、仕事が上手いけば、そのポジションを外されるとか、どう努力してもどうにもならない積りつもったジレンマが 25 年間ありました。私は生きる場所をアメリカ社会に移すことにしました。City College で建築を専攻し、卒業後アメリカの建築事務に勤め、現在に至っています。◆私は幼い頃から一人で居ることが多く、人生や人間というものについて割合早い時期から考えてきました。その流れで自然とイエスキリストに興味を持ち、聖書勉強グルー

プに参加したり、教会に通ったりということ数年続けてきました。◆そんな私に、ある日知人が JAUC を紹介してくれましたが、その時日本社会と殆んど縁の無かった私に、多数の日本人が属する教会に入っていけるのだろうかという疑問がありました。ところが JAUC に来てみたところ、最初からその和の中に入ることができたのです。そこで私は、これは日本社会、アメリカ社会の問題ではなく、キリスト教の価値観、そしてキリストの兄弟姉妹の中でのみ生きていけるのだと確信しました。この洗礼にあったて私を受け入れて下さっている皆さんに改めてお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。

◇ 宣教 - フードバンク・プログラム ◇

相田尚子姉記 1 月 11 日、牧師夫人のエリザベス姉と私は、昨年末 JAUC のフードバンクに参加するプログラムで会衆の皆さんから集めた食料品を、86 丁目西にある St Paul and St Andrew United Methodist Church へ届けてきました。届ける前日に、絵里香と萌ちゃんにすべての品物を分別し、数えてもらいました。ご奉仕ありがとうございました。この記事を書くにあたって、確かな数字が手元にありませんが、ハッチバック車の運転席と助手席以外のスペースは、すべて集めたもので埋め尽くされたので、たいへんな数だった事は確かです。◆St Paul and St Andrew 教会は、劇やダンス、オーケストラ、コーラスの舞台や稽古場として、また、長老派、ユダヤ教の礼拝場所としても利用されていて、実に多目的な教会といえるでしょう。何よりも、私たちが感銘を受けた事は、地下にあるフード・パントリーでした。このフード・パントリーはまるで小さなスーパーマーケットのようです。食べ物はすべてきちんと棚に飾られています。サービスを受ける人々は客として、このストアで品物を選びます。それぞれ、家族構成により違うポイントを示されたカードをうけとり、そのポイントに沿ってあらゆる栄養群の食べ物を選ぶ事ができます。◆私たちが訪れた日には、大人 5 人と子供 2 人のボランティアの人達がいました。このプログラムを監督されている方によれば、ボランティアの人達はこのプログラムの利用者でもあるそうです。教会は食品会社と卸し値で直接、取引しているそうです。このプログラムのほか、教会はシェルター、カウンセリング、税金の無料サービスを提供しています。詳しくはこの教会のウェブサイトをご覧ください。◆St Paul and St Andrew 教会に対しての神様のみ心が、裕福な人にも貧しい人にも、信仰のある人にもない人にも、異性愛の人にも同性愛の人にも、あらゆる人々に聖なる礼拝堂のスペースを提供する事だとしたら、一方で私たちの教会 JAUC には、神様はなにを望まれているのでしょうか？ www.stpaulandstandrew.org

スモール・グループ

スモールグループは教会員の霊的成長のための教会プログラムです。少人数での親密な交わり(フェロウシップ)を通して、クリスチャンとして実生活でどう生きるかなどを考え、互いに支えあい、高めあうことを目的とします。自分のニーズにあったスモール・グループ 1 つに所属し、同じメンバーで共に学び、祈っていきます。(自由意志参加)

- | | | |
|----------------------|--------------|----------|
| SG 1. 女性信徒の学び会(バイブル) | 第 2、4 土 1 時 | 園田姉宅 |
| SG 2. 日本人女性の会 | 第 2 火 11 時 | 時田姉宅 |
| SG 3. 男性信徒の学び会(バイブル) | 第 2、4 日 9 時半 | 教会(日下部兄) |
| SG 4. 日本語での学び会 | 第 2 日 2 時 | 教会(春日姉) |
| SG 5. 日本語「葡萄の木」の会 | 第 1、4 日 2 時 | 教会(小林姉) |
| SG 6. 日本語「証しと祈りの会」 | 毎月最終金夜 7 時 | 寒河江兄宅 |

教会運営報告

◇ 祈りのリクエスト ◇

今、苦悩の中にいる人、悲しみの中や孤独の中にいる人が私たちの隣人の中にいます。私たちクリスチャンはとりなしの祈りを主に捧げ、その人たちのために主の平安と癒しを求めて祈ります。次に記された方々、そしてそれ以外にも心に浮かぶ方々を、毎日のお祈りに覚えてください。祈りのリクエストに加えたい方がおられましたら事務所までご連絡ください。■わたしたちの祈りのリスト: ジェン・アーボン(春日姉息女)、奥田久子、内山綾子、小口愛、久保スウ、ゴーマン美智子、下村ジョシュア、野間美奈子、松本二三子、山田メアリー、劉世花の諸兄姉(五十音順)。最近、お母様をなくされた寒河江修兄とそのご家族に主の慰めがありますようにお祈りいたします。

◇ お知らせ ◇

■**灰の水曜日**の礼拝とレントの学び: 教会暦では、復活祭(イースター)前の46日間を四旬節(レント)と呼び、受難と復活の準備に入ります。その最初の日が「灰の水曜日」です。初期のクリスチャンが前年の棕櫚の日曜日に配られた棕櫚の枝を燃やした灰をかぶってレントに入る決意を新たにすることから「灰の水曜日」と呼ばれています。今年は2月17日が「灰の水曜日」なので、その夜7時から7時45分まで礼拝を行います。

恒例のレントの学びは2月24日から毎水曜日3月31日まで計6回、7時から8時半までです。今からご予定ください。

■12月上旬、**山田メアリー姉**はアパートのロビーで転倒、腰を痛められ手術を受けられました。1月12日、甥の宮里マイケル兄とその妹マリリン姉に助けられ、病院から一時的にイザベラハウスのリハビリユニットに移られました。入院中には、鈴木エリザベス姉が病院でいろいろお世話されました。吉田ピーター、ジェリ兄姉は引越しを手伝われ、他の兄弟姉妹の多くも病院やイザベラを訪問し、山田姉を見舞われました。つづけて山田姉の速やかなご快癒をお祈り下さい。



■2008年に受洗され会員になられた**丸山峰子姉**は1月末、日本に帰国されました。1月10日の礼拝式ではお別れの言葉を述べられ、17日のランチには、婦人会からのお別れのケーキが用意されました。24日午後にはJAUCで丸山姉を囲んで食事と

団欒のときを持ちました。日本画家の丸山姉はお仕事の関係でニューヨークに来る機会を得、10年程住まわれました。

■**「大晦日は教会で」の集い**は、JAUC内外から85~90名の方々が参加され、祝福された時間を持つ事ができました。鈴木牧師のメッセージ、讚美歌、相田親子のピアノとバイオリン演奏、ホプキンス先生とコロロジャパニーズゴスペルクワイアによるゴスペル、熊田姉のオルガン演奏と盛りだくさんでした。その後おせち料理、おはぎ、玉子焼などを戴きながら、皆さんにとっても楽しんで戴けたと思います。この集いが、神様の祝福を受け、私たちの地域伝道の小さなステップとなりますように祈ります会計報告: 献金合計1,353.98ドル、食事費用781.98ドル、讚美費用400.00ドル。(今戸ちづこ、パウマン久美子)

年次総会

1月31日、**日米合同教会(JAUC)の年次総会**が開催されました。アクティブ教会員101名中42名が参加、定足数を満たし、教団からはそれぞれNoel Chin師(UMC)、Clara Woodson師(RCA)が参加されました。主な決定事項は次の通りです。

■**次期牧師の招聘**: 年次総会では次期牧師に**鈴木有郷牧師**の招聘(パートタイム)を決定しました。鈴木牧師は2月1日からの4年間(2年後に確認レビュー)、次の4つの責任を担い、牧会を遂行されます。

1. 聖書を土台とした礼拝を導くこと
2. 教会のミニストリーを監督、指導すること
3. 教会ビジョンを実現できるように教会員を調えること
4. 教会以外のコミュニティとの関係を築き、維持すること

尚、牧師招聘委員会は鈴木牧師と共に、同師の牧会を助ける副牧師又は神学生などをアレンジしていく予定です。

■**JAUC 憲法規定の修正**: 規定「第1条 - 理事会について、第3項」を次のように変更することを承認。

修正前文言: 理事会は5人を持って定足数とし、理事会の会合は定期的に毎月第1日曜日に開かれる。

承認された文言: 理事会は5人を以って定足数とし、理事会の会合は定期的に開かれる。

■**教会予算**: 2010年度の教会予算案は、賛成多数で可決されました。

■**役員選挙および承認**: 2010年度に選出および承認された理事会、管財会、および役員会役員は次の通りです。

2010年度理事会役員 (任期別アルファベット順)			
理事長: ダウンズ理加 (2010年)			
2010年	ダウンズ理加	野口順子	鈴木 香
2010、11年	栗原 健	栗原紀子	日下部ディーン
2010、11、12年	パウマン久美子	本井慶次郎	吉田小夜子
次席	白石義典		

2010年度管財会役員 (任期別アルファベット順)			
管財会長: 本井慶次郎、吉田小夜子 (2010年)			
2010年	Jゴールドバーグ	神崎よねこ	本井慶次郎
2010、11年	ノエル・チン師	齊藤不二夫	吉田小夜子
2010、11、12年	改革派(RCA)	改革派(RCA)	メソジスト(UMC)

2010年度役員会役員			
役員長: 鈴木有郷牧師			
牧師招聘委員会	ダウンズ理加	教会教育委員会	
牧師信徒関係委員	活動休止	聖書勉強	鈴木有郷師
建物管理委員会	日下部ディーン	スモールグループ	鈴木有郷師
財務管理委員会	財務責任者	図書	栗原 健
礼拝委員会		日曜学校	日下部かおり
教会礼拝	寒河江修	伝道委員会	
イザベラ礼拝	時田 都	アルファ・コース	ダウンズ理加
音楽	鈴木エリザベス	月報	園田雅代
宣教・社会関心	未定	広報/ウェブサイト	ダウンズ理加